

平成 29 年 2 月 15 日

報道関係者各位

橿原市教育委員会 文化財課・奈良県立橿原考古学研究所
(共同発表)

新堂遺跡 発掘調査の成果

◎ 発掘調査の概要

調査地：橿原市新堂町（別紙位置図）

調査期間：平成 28 年 5 月 25 日 ～ 平成 29 年 2 月末 終了予定

調査面積：約 7,000 m²

調査原因：大型店舗建設

調査機関：橿原市教委員会・奈良県立橿原考古学研究所の共同調査

新堂遺跡は古墳時代や中世の集落遺跡として知られている。今回の発掘調査では古墳時代中期（5 世紀頃）の河道、井戸、土坑、溝などを発見した。

河道からは遺物コンテナ 500 箱を超える**大量の遺物**が出土した。その中には**大量の初期須恵器、木製品、馬の骨**といった様々な注目すべき遺物も含まれている。遺物の時期は 5 世紀でも前半が大半を占める。

河道の規模は幅約 15～35m、深さ最大約 2.5m。南東から北西に向けて屈曲しながら流れていた河道であり、その北半には大規模な**しがらみ（柵）遺構**が存在している。河の勢いや流れを変える水制の役割を果たしていたと考えられる構造物である。しがらみ遺構は様々な木材を組み合わせで構築されており、その一部には生活用品や建築部材の転用品と考えられる木材も含まれる。

今回の調査では、出土した遺物の量や状態から、古墳時代中期に調査地一帯の空間が積極的に利用されていたことが窺える。また、調査地から北東約 300m の地点には、古墳時代前期後半から中期にかけての時期に形成された曲川古墳群が存在している。今回出土した遺物の時期は、まさに古墳群の形成時期にあたり、曲川古墳群の造営集団との関わりが想定される。さらに、次に述べる初期須恵器や馬の利用は当時最先端の文化であり、そういったものを積極的に取り入れた集団が、調査地を含む地域に存在していた可能性が考えられる。

◎ 出土遺物について

多量の初期須恵器

大量の土器が出土した。とくに**初期須恵器**が多く含まれる点が注目される。初期須恵器の出土量としては奈良県内最多である（個体数にして約 70 点以上…遺物整理作業に伴い増加の見込）。

初期須恵器とは日本で須恵器が生産され始めた時期の資料を指す。朝鮮半島、特に伽耶地域（現慶尚南道咸安郡、金海市など）の影響が色濃く見て取られる一方、朝鮮半島に無い独特の要素も存在する。後の須恵器と比較して様々なバリエーションが見られ、須恵器生産黎明期の試行錯誤

がうかがえる。今回出土した資料群は、日本列島内での初期須恵器生産地の問題、須恵器生産体制の確立過程や流通の実態、朝鮮半島との具体的な関係性等といった様々な問題を研究する上での一級資料となる。

木製品

しがらみ遺構の内部やその周辺からは様々な木製品（農具、工具、祭祀具、生活用具など）が出土している。その中には**腰掛**（イス）、**刀形木製品**、**刀装具**といった稀少な資料が含まれている。

腰掛は高さ約 12 cm の小型品で、コウヤマキの刳物（一木造り）である。座面から脚部まで非常に精巧に作られている。古墳時代の腰掛は全国で数十例存在するが、もっとも優美な作りの資料のひとつと言える。コウヤマキは日常用具に用いられることは稀で、古墳の木棺といった特殊な用途に用いられることが多く、この腰掛も儀礼の場などで使用された可能性がある。

刀形木製品は刀を模した長さ約 22 cm の小型品である。抜身の刃や装具を付けた柄が、実際の刀を精巧に模して表現されている。このような精巧な刀形木製品は稀少である。

出土した**刀装具**は柄ないし鞘の一部と考えられ、外面には直弧文が彫られ漆と朱が塗られている。上記の刀形木製品は、このような刀装具を装着した刀を模したものと考えられる。

馬の骨

河道からは**馬の骨**が散らばった状態で出土した。骨の大半は**歯**で、他に肩甲骨なども出土している。歯は多数出土しているが、本来は顎骨や頭骨に付随していたと思われ、近辺に複数の馬が居たと考えられる。その中には若い個体も含まれる。初期須恵器と同じ時期の資料であると考えられる。これは日本列島で馬の本格的な利用が開始された時期にあたる。

◎ 速報展および成果報告会・特別遺物見学会の開催

今回の発掘成果について、速報展示及び関連イベントを歴史に憩う橿原市博物館にて行う。

【新堂遺跡 発掘調査速報展】

開催期間：平成 29 年 2 月 15 日（水）～平成 29 年 6 月 30 日（金） ※会期中無休

開催場所：歴史に憩う橿原市博物館 1 階ロビー（ロビー展は無料）

展示資料：新堂遺跡出土土器、発掘調査解説パネル

速報展の関連イベントとして…

「発掘調査担当者による成果報告会と特別遺物見学会」

（計 2 回）

日時：平成 29 年 2 月 26 日（日）と 3 月 4 日（土）の 午後 1 時 30 分 ～ 2 時 30 分

会場：クリーンセンター 3 階研修室（※事前予約は不要）

内容：調査担当者による発掘成果のスライド報告、及び速報展示の対象外遺物（腰掛など現時点では通常展示が困難な資料）を含む出土遺物の見学会。

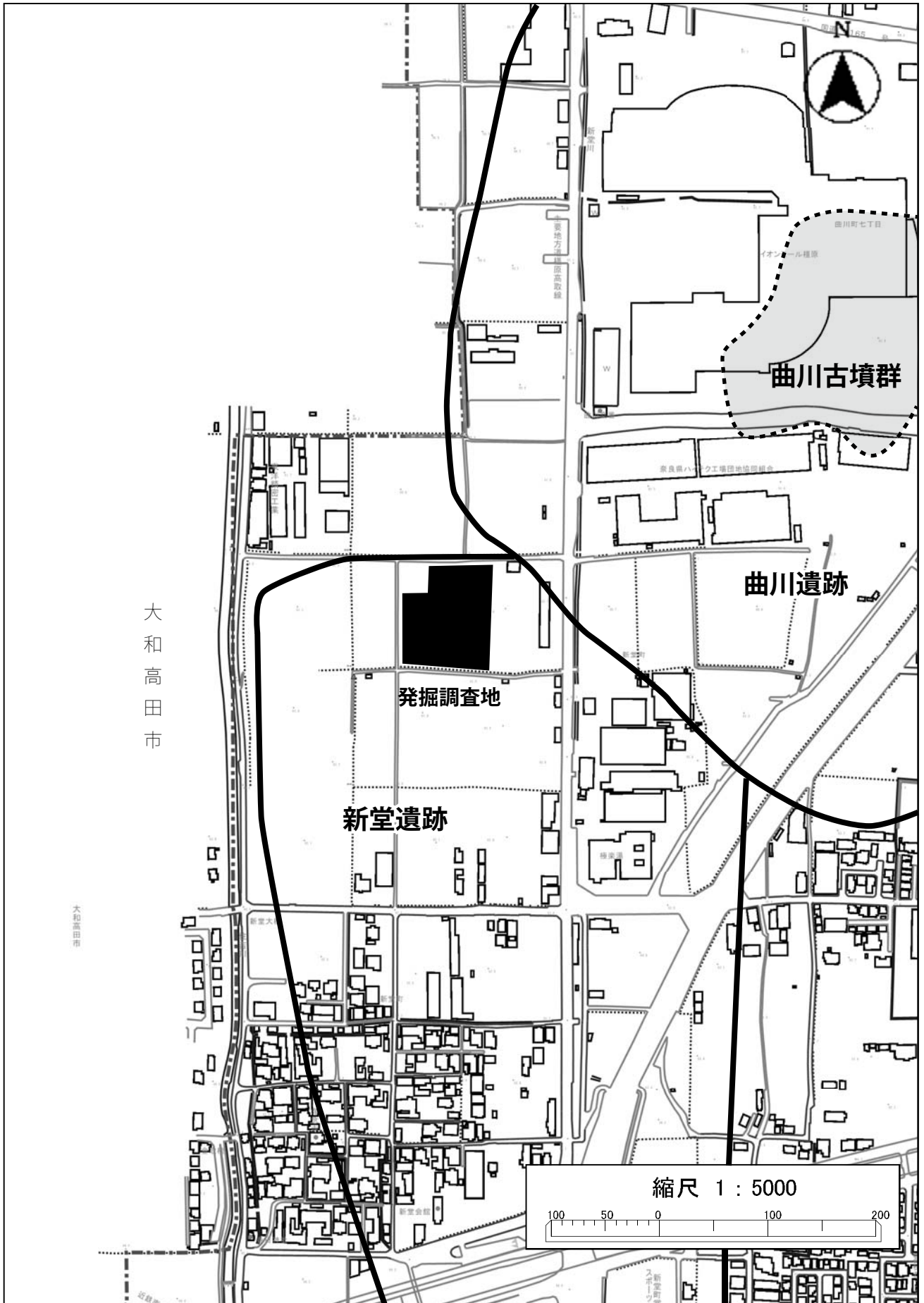
※新堂遺跡と曲川古墳群の過去の発掘調査での出土遺物も博物館にて常設展示中！

＜本件に関する問い合わせ先＞

橿原市教育委員会 生涯学習部 文化財課

橿原市八木町 1-1-18 [TEL:0744-47-1315](tel:0744-47-1315)（直通）

新堂遺跡 発掘調査地（橿原市新堂町）





しがらみ遺構の全体像（南東から）



調査区全景 航空写真



古墳時代の遺構平面図

0 25m



出土土器



調査区全景（南東から）



しがらみ遺構



馬の肩甲骨 出土状況



腰掛（椅子）出土状況



しがらみ遺構周辺 遺物出土状況



腰掛（椅子）



刀形木製品



刀装具